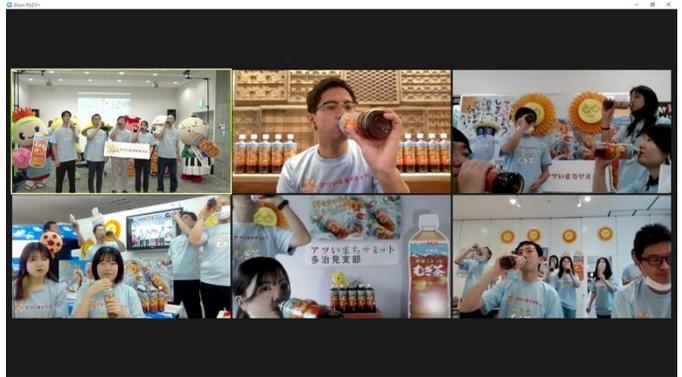


暑さ対策先進都市（浜松市・熊谷市・四万十市・多治見市・山形市）と伊藤園が集結 環境省後援「第8回アツいまちサミット2021」を実施 各市が地域資源を活用した熱中症対策“体感温度-10℃”を発表

一般社団法人アツいまちは、2021年5月29日（土）に環境省をはじめ各県、各市の後援のもと、株式会社伊藤園（共催）と「第8回アツいまちサミット2021」をオンラインにて開催しました。

本サミットでは、日本の歴代最高気温を記録した5都市である浜松市（静岡県）・熊谷市（埼玉県）・四万十市（高知県）・多治見市（岐阜県）・山形市（山形県）が、環境省後援のもと暑さ対策先進都市として「住みやすいまちづくり」の提案を行うとともに、地域資源を活用した熱中症対策“体感温度-10℃”についてアイデアを考案し発表しました。

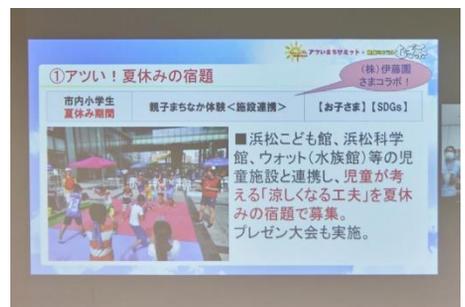


今回は、昨年の各都市の活動報告、共催である株式会社伊藤園の取り組み、また「体感温度-10℃」をテーマに市民団体や学生が考えた、この夏の各市のアイデアを発表した他、熊谷市出身の医師の黒沢先生からは「水分だけでなく、ミネラル補給が効果的な暑さ対策」とのコメントをいただきました。

発表されたアイデアを今夏5都市（浜松市、熊谷市、四万十市、多治見市、山形市）で実施することを『アツいまち共同宣言』として採択し、「第8回アツいまちサミット2021」は閉幕しました。

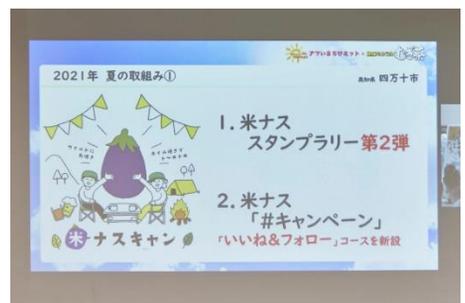
■浜松市：「アツいまち、初登場。」

今年からアツいまちサミットに加わった浜松市からは、浜松こども館、浜松科学館、ウォット（水族館）等の児童施設と連携し、児童が考える「涼しくなる工夫」を夏休みの宿題で募集しプレゼン大会を実施することや、涼感食材のハーブを屋内施設で栽培する(MZファーム様コラボ実験)といった新たな施策を提案しました。その他、高知県四万十市の名産である米ナスとのコラボメニューを提供するなど、アツいまちのつながりを利用したアイデアも発表。また、毎月、10年間継続実施している企業連携のゴミ拾い活動時には「健康ミネラルむぎ茶」を配給して暑さ対策を行う予定。



■四万十市：アツさに負けない！米ナスキャンペーン2021

夏バテや体を冷やす効果があるといわれる四万十市特産品の「米ナス」。今年は四万十市の米ナス スポットを巡る「米ナススタンプラリー」や、おうちで作った米ナス料理をインスタグラムで投稿する米ナス「いいね&フォローキャンペーン」も紹介。さらに、「みんなで涼もう米ナス風鈴」や「みんなで流そう 米ナスどんぶらこ」のアイデアを紹介しました。



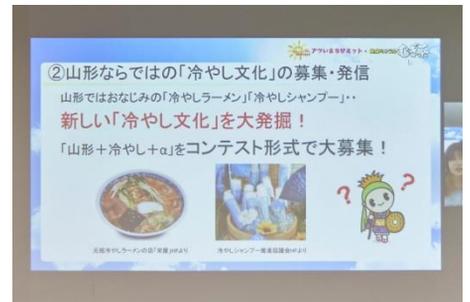
■多治見市「ドラマの配信による暑さ対策の共有」

真夏もうなぎを焼く職人、火の傍で作業をする窯元など多治見市の様々な「アツイ業界のプロ」にインタビューを実施します。そのインタビューを元に『アツイドラマ』の制作・配信をすることで様々な熱中症予防のアイデアをドラマを通して共有します。さらに、ドラマ内で紹介した名産や文化、観光情報など地域の魅力も熱中症対策と合わせて発信していきます。



■山形市「山形の「冷やし文化」で夏を涼しく」

昨年好評だった山形市郷土料理「水まんま」のコンテストを今年も実施し、全国区のご当地メニューへと昇華することを目指します。また、「冷やしラーメン」「冷やしシャンプー」など、先人の知恵である山形ならではの「冷やし文化」を発掘するとともに、山形大学の学生を中心に「体感-10℃」の空間を作り出すアイデアを提案しました。



■熊谷市：星川沿いのお店とつくる「星川ひんやりロード」（2大作戦）

星川通中央振興会、星川通り商店街振興会、熊谷まちなかモール委員会などの方々と協力し、緑あふれるおしゃれな休憩スポットとして「星川グリーンゾーン」の構築を提案。さらに、星川の通り沿いにある飲食・サービス店の「販売券」「割引券」を氷の中に入れて流しそうめん風に配布し、その券を各お店で使用できるイベントで体感温度-10℃と地域活性を目指す施策を紹介しました。



<熊谷市長 富岡 清様 コメント>

熊谷市は、昨年初めて環境省が推進する暑さ対策の「熱中症予防声かけプロジェクト」において殿堂入りを果たしました。本日は全国各市のアツイまちの持ち味を十分に発揮して頂き、熱中症対策について意見交換をしていければと思います。

<千葉中央メディカルセンター 黒沢 哲生先生 コメント>

暑さによる健康リスクは、日中の屋外だけではなく、実は夜間や室内でも注意が必要です。特に、暑さを感じにくい高齢者や体温調節が苦手な乳幼児は注意が必要です。また、暑さ対策には、水分だけでなく体の健康維持に必要なミネラルの補給が大切なため、手軽にミネラル補給ができる健康ミネラルむぎ茶をおすすめしています。また、効率的に水分・ミネラル補給するためには、こまめに飲む「点滴飲み」を実践してください。



アツいまちサミットとは？

日本の歴代最高気温を記録した5都市（昨年暑さ日本一を記録した「浜松市（静岡県）」、歴代最高気温を記録した「熊谷市（埼玉県）」、「四万十市（高知県）」「多治見市（岐阜県）」「山形市（山形県）」）がタッグを組み開催しています。

理念「アツいまちを住みよくするために私達にできること」

日本のアツさ対策先進都市が、SDGsを踏まえアツさに負けない経験とアイデアを共有し、持続可能な社会の実現を目指します。

- ・元気に活動できる環境をつくります。
- ・いきいきとした人間関係を構築します。
- ・訪ねたくなるまちづくりを実践します。



未来へのビジョン「私の地域を誇りに思えるようにする」

発信：アツさ対策を全国・世界と共有し、持続可能な社会の実現を目指す

交流：アツい街同士の交流

革新：アツい街のイメージチェンジ



発表の様子(浜松市)



発表の様子（四万十市）



発表の様子（多治見市）



発表の様子(山形市)



発表の様子（熊谷市）



『アツいまちの共同宣言』の様子



熊谷市長のコメントの様子



医師のコメント様子



みんなでミネラル補給の様子